

令和5年度 経営発達支援事業 評価シート

評価基準

A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80～99%)
C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%) D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) E: 未実施

I 経営発達支援事業の内容

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和5年度		実績	評価
			目標	実績		
3. 地域の経済動向調査に関すること【P13～】	①地域経済動向分析	回	1	0	RESAS(地域経済分析システム)の活用事例が少ない中で、協力依頼する専門家選定や交渉に時間を要し、取り組みを進めることができなかった。	D
	②景気動向分析	回	4	4	これまで同様に、町内対象事業所に対する調査を年4回実施し、岩手県商工会連合会へ報告した。	A
4. 需要動向調査に関すること【P14～】	①お客様のニーズを聞き取る消費者動向調査	回	1	1	すみチケ商品券事業と併せてスタンプラリーも実施。期間中の換金データ等取得できたが、詳細な分析までには至らなかった。	A
	〃 調査対象事業所数	者	3	21	すみチケ商品券事業登録事業所のうち、飲食9・小売業2・理美容10の計21件対象業種の事業所はあったが、目標とする項目の調査分析まで至らなかった。	C
	②主に町外を対象する消費者のトレンド調査	回	1	2	2事業所に対して2回、専門家による調査分析等の指導を支援した。	A
	〃 調査対象事業所数	者	5	4	飲食料品製造販売3件、製造業1件の計4件掘り起こし。	B
5. 経営状況の分析に関すること【P16～】	①経営発達支援計画のPRと支援対象の掘り起こし	者	40	53	日業業務の中で案件掘り起こしを実施したが、ヒアリングシート等を利活用することができなかった。	B
	②経営状況の分析	者	20	12	主に金融、補助金申請等支援に係る経営分析を12事業所で実施。	B
6. 事業計画策定支援に関すること【P18～】	①事業計画策定個別相談会	回	3	3	被災中小企業等支援事業(振興局)、起業個別相談会、セミナーによる支援実施。	A
	〃 支援事業所数	者	8	21	経営革新1・各種補助金4・創業1・事業承継10・金融5の計21件支援。	A
	②DXに向けたIT導入の個別相談会の開催	回	1	1	効率的な経營業務を切り口とした講習会・相談会を開催。	A
	〃 相談支援者数	者	3	4	商工会で推奨している経理システム等導入支援を事業所4件に行った。	A
7. 事業計画策定後の実施支援に関すること【P21～】	①定期的な巡回訪問によるフォローアップの実施	者	8	8	金融、補助金申請等支援を行った事業所6件に対し、定期的にフォローアップを実施した。	A
	フォローアップ頻度(延べ回数)	回	48	70	延べ70回のフォローアップを実施。事業所1件あたり平均11回程度。	A
	売上増加事業所数	者	2	2	事業計画策定支援事業所のうち、サービス業1件・製造業1件の計2件。	A
	営業利益率1%以上増加の事業所数	者	1	2	事業計画策定支援事業所のうち、サービス業1件・製造業1件の計2件。	A
8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【P22～】	①商談会・物産展支援者数	回	5	4	三陸けせん希望ストリート事業他の商談会、展示会出店支援	B
	成約件数	社	1	2	飲食料品製造販売1件、製造業1件の計2件。	A
	②ECサイトへの出品支援	社	10	7	三陸けせん希望ストリート事業による、住田町の出店支援も受けて実施。	C
	売上増加事業者数	社	5	0	送料無料キャンペーンなど販促支援を行ったが、売上増加までには至らなかった。	D
	③需要開拓支援事業による地元個店一押しの販促強化支援・支援者数	社	3	21	町商店街を活用して、岩手県飲食店・商店街利用促進費補助事業を実施。	A
	〃 ひと月あたりの売上増加率／1者あたり	社	5	0	イベントによる誘客・集客効果はあったが、ひと月あたり売上増加率5%達成までには至らなかった。	D

II 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和5年度		実績	評価
			目標	実績		
9. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること【P25～】	①住田町商工会経営発達詞ね計画事業評価委員会の開催	回	2	2	第1回＝令和5年9月1日、第2回＝令和6年3月21日にそれぞれ開催。	A
	②評価・見直しの結果の公表	回	1	1	第2回委員会開催後、商工会ホームページにて公表。	A
10. 経営指導員等の資質向上等に関すること【P26～】	①岩手県商工会連合会の研修会等への参加による経営支援ノウハウの取得	回	—	3	職階別研修、実務能力研修、伴走型支援力強化研修受講。	A
	②全国商工会連合会の研修会等への参加による最新販促ツールの取得	回	—	2	経営指導員WEB研修、小規模事業者持続化補助金説明会等受講。	A
	③中小企業基盤整備機構の研修への参加による個社支援ノウハウの取得	回	—	2	IT活用支援力強化研修会、法定経営指導員等講習受講。	A
	④商工会内研修及び事業計画策定支援情報等の共有化の仕組みづくり	回	—	1	これまでの複数システム入力管理が、商エイントラに一元化され、商工会アプリ活用による情報共有のIT化が進んだ。	A
	⑤経営発達支援計画の進行管理の仕組みづくり	回	—	1	これまでの複数システム入力管理が、商エイントラに一元化されたことにより、他商工会と進捗状況など相談確認がしやすくなった。	A
	⑥DX強化のための知識の習得への取組	回	—	1	IT基礎力強化研修会受講。	A